

1 研究主題

- (1) 研究主題 学ぶ喜びを共感し、自ら学び続けようとする生徒の育成
—なかまとともに「主体的に学び、考え、表現する」授業の工夫—
- (2) キーワード なかま、ピア・サポート、主体的、問題解決学習、SDGs
- (3) 研究主題設定の意図

本校では、特別の教科 道徳における計画的、組織的な取組により、道徳的な考え方をもち生徒が多い。一方で、自尊感情の低さや対話を通して学習を深めることには課題が残っている。そこで、道徳科の取組を基盤に、向社会スキルを身に付けるための学習を取り入れ、なかまとともに思いや考えを伝え合う活動を行うことで、学ぶ喜びを共感し、自ら学び続ける生徒の育成をねらった(図1)。



図1 研究構想図

2 研究の具体

(1) 具体的な内容

- ① 対話を深めるなかまづくり
 - 特別の教科 道徳の実践
思いやりなど他者との関係・心情について考え議論できる場の設定や授業の展開の工夫。
 - ピア・サポート
対話のスキルを高め、向社会スキルを身につけ、思いやりを表現できる集団づくりをねらいとしたピア・サポート活動の設定。

「見通し」	生活に結びついた、生徒の問題意識に沿った課題設定を工夫する。 自己選択や自己決定ができる多様な学習を深める場を設定する。
「探究」	対話的な活動を単なる話し合いで終わらせることなく、他者の視点を取り入れ、自らの考えを明確にしたり、広げ深めたりできるような場を設定し、目的に合った交流方法の活用を行う。 学習活動中の自己評価や他者評価、友達からの賞賛等を通して、多様な見方や考え方に触れたり、自分の価値観が認められたりする場を設定する。 対話的学びを進めるための ICT の活用を工夫する。
「振り返り」	内容と学び方の2つの視点による振り返りシートを作成し、生徒が自らの学び方に注目し、自己の成長を自覚し、新たな学びに向かうような振り返りの場を工夫する。

表1 「見通し」「探究」「振り返り」の改善点

② 「主体的に学び、考え、表現する」授業づくり

- 問題解決的な学習
各教科の授業を「見通し」「探究」「振り返り」の3つの場面に分け、授業を改善(表1)。
- 総合的な学習の時間 (SDGs)

身の回りの問題や課題を見出し、なかまと協力し、各教科の見方・考え方を働かせながら学んだり考えたり判断したりできる場の設定。

(2) 具体的な取組

- ① なかまづくり部会
道徳部会では、担当毎の指導案作成、毎月の道徳の週、ローテーション道徳など、全教員が道徳科に関わる意識を高めた。ピア・サポート部会では、年間指導計画を作成し、実際に授業を行った。また、学年団会での模擬授業を通して教員研修も行った。
- ② 授業づくり部会
教科部会では、検討した改善点を授業で具体化し、他教科の教員も含めて授業討議を行った。また、高松地区中学校教育研究大会(南ブロック)で公開授業を行った。

3 研究の検証及び改善の手立て

(1) 研究の検証

生徒対象のアンケート比較(図2)より、対話を通して学習を深めることができていることが分かる。自尊感情の高まりも感じられた。

(2) 改善の手立て

資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表できていないと感じている生徒に、どのように工夫すればよいのか支援したり、学び方や変容についての意識の低い生徒に、学習活動の過程を価値づけて振り返るように促したりして、生徒が学ぶ喜びを自覚し、人間力を養うための取組を続けていきたい。

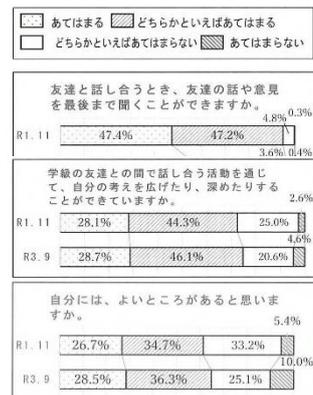


図2 アンケート結果